

未病を改善し、健康長寿を目指す Marine blue

マリブルー

Vol. 22
2022.Spring

コロナ禍の
いまでできること

CONTENTS

- コロナ禍の体と心の健康 その変化と対策
- 大腸がん検診の精密検査が神奈川県予防医学協会を受診できます～大腸内視鏡検査～
- ちょこっとヘルスクエスチョン「検査の『基準範囲』」
- 湘南モノレール駅構内に『ピンクリボンの部屋』を開設
- JKA補助事業による胃部X線デジタル撮影検診車の導入



たしかめましょう健康
公益財団法人 神奈川県予防医学協会

TEL: 045-641-8505 <https://www.yobouigaku-kanagawa.or.jp/>

健康
Q&A

ちょこっとヘルスクエスチョン

テーマ: 検査の「基準範囲」



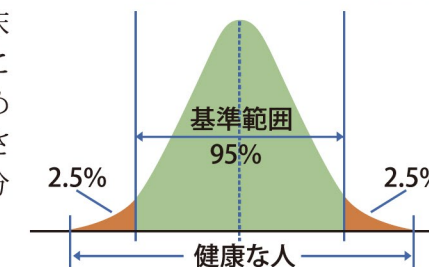
回答: 精密総合健診部長 菊池 美也子

2022年4月から、検査の基準値が変わります。そこで今号では、健康診断の判定にかかわる「基準範囲」について、菊池美也子医師に聞きました。

Q 基準範囲はどのように決められるのですか？

A 一般的には、BMI、飲酒量、薬物治療の有無など一定の条件を満たす健常者(と思われる人)を集め、検査データのうち高い方と低い方をそれぞれ2.5%ずつカットした残り95%の人が含まれる統計学的な分布幅を「基準範囲」として設定します。健康人でも5%は基準範囲から外れることになります。「基準範囲」は検査値を判断する一種のものさし・目安と考えてください。

一方、特定の病態に関して、その診断・治療・リスク評価のために用いられる指標として、「臨床判断値」という基準があります。これは各専門学会がガイドラインとして提示しているもので、脂質、血糖、尿酸などはこの「臨床判断値」で判断されます。このように、意味合いも決め方も異なる2種類のものさしを検査項目ごとに使い分けているのです。



Q 今回、どうして基準範囲が変更されるのですか？

A 基準範囲は検査機関や医療機関ごとに決められ、同じ数値でも施設により判断が異なる場合がしばしばみられます。これでは受診者も混乱するため、全国で共通して利用できる検査値の共用基準範囲が設定されました。当協会でも一部の検査項目を除き、2022年度からこの共用基準範囲を

使用します。ただし、脂質や血糖など「臨床判断値」で判定している検査項目については、従来どおりで変更はありません。

また、検査の測定法が変わることにより、基準範囲が変更される場合があります。検査の測定法を国際的に標準化する動きが進んでおり、2021年度はALP(アルカリホスファターゼ)やLDHの測定法が世界的に普及している方法に変更されました。その結果、ALPの基準範囲が大きく変わりました。

Q 基準範囲が変わると判定も変わるのでしょうか？

A 検査値を判断するものさしが変われば、基準ぎりぎりの数値は判定が変わる可能性もあります。しかし、健診結果を解釈する際に一番大切なのは「個人の基準値」です。検査値には体質による個人差があるからです。自分自身が健康な時の検査値の変動幅が個人の基準範囲と考えられ、集団の変動幅(基準範囲)よりも狭いことが知られています。基準範囲内の数値でも、ふだんの値と比べ大きく変わっている場合はその人にとっては異常ですし、逆に基準範囲から外れていても問題ない場合もあります。そのため、以前の結果と比べる、経年変化を見ることが大切なのです。健康管理の上では、定期的な健診の結果を集積して、自分なりの基準値を知っておくといいでしょう。

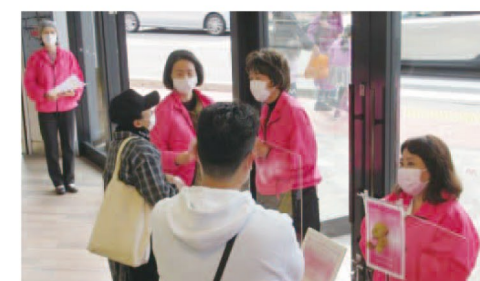


ピンクリボンかながわ

湘南モノレール駅構内に『ピンクリボンの部屋』を開設

ピンクリボンかながわ事務局では、乳がんの早期発見の大切さを知っていただくとともに、これから治療を始める方や治療中・治療後の方々に寄り添えるような場を作ろうと考えてきました。株式会社湘南モノレールのご協力のもと、昨年11月に「湘南江の島駅」構内に『ピンクリボンの部屋』を設置。3月からは大船駅に移設されます。

ここは、乳がん体験者や乳がんの正しい知識を持つ資格者と訪れた人が気軽に話し、不安や悩みが軽くなるような場を目指しています。ご興味のある方は、ぜひお立ち寄りください。



3月の開室日
3/13(日)・27(日)

JKA補助事業による胃部X線デジタル撮影検診車の導入

当協会では、公益財団法人JKA(競輪・オートレースを統括する団体)2021年度公益事業振興補助を受け、新たに「胃部X線デジタル撮影検診車」を導入しました(写真)。排気ガス抑制、大気汚染防止に繋がる蓄電池方式の電源等最新機器を搭載した検診車です。環境保全や受診環境向上を果たしながら、疾病の早期発見とみなさまの健康保持増進の一助となるよう、活用してまいります。

